

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公開番号】特開2007-39326(P2007-39326A)

【公開日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-006

【出願番号】特願2006-207323(P2006-207323)

【国際特許分類】

C 0 4 B 35/453 (2006.01)

G 2 1 D 1/00 (2006.01)

G 2 1 C 19/307 (2006.01)

C 0 4 B 35/628 (2006.01)

【F I】

C 0 4 B 35/00 P

G 2 1 D 1/00 X

G 2 1 C 19/30 L

C 0 4 B 35/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月27日(2009.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

原子力発電所の累積する貴金属添加の経験は、約120原子炉稼働年であり、DZOの経験は、300原子炉稼働年を超えており、これら2つの技術が原子力産業において広く受け入れられていることが実証される。しかし、今のところ、貴金属とDZOの両方を稼働中プラントに同時に添加する単一のアプローチはない。本発明は、そのような要求に応えようとするものである。

【特許文献1】米国特許第5,448,605号

【特許文献2】米国特許第5,600,191号

【特許文献3】米国特許第5,600,192号

【特許文献4】米国特許第4,756,874号

【特許文献5】米国特許第4,950,449号

【特許文献6】米国特許第4,759,900号

【特許文献7】米国特許第5,896,433号

【特許文献8】米国発行特許第6162530

【特許文献9】日本公開特許2001-89137

【特許文献10】日本公開特許10-43589

【特許文献11】米国公開特許2003-12686